

# 総合戦略プロジェクト



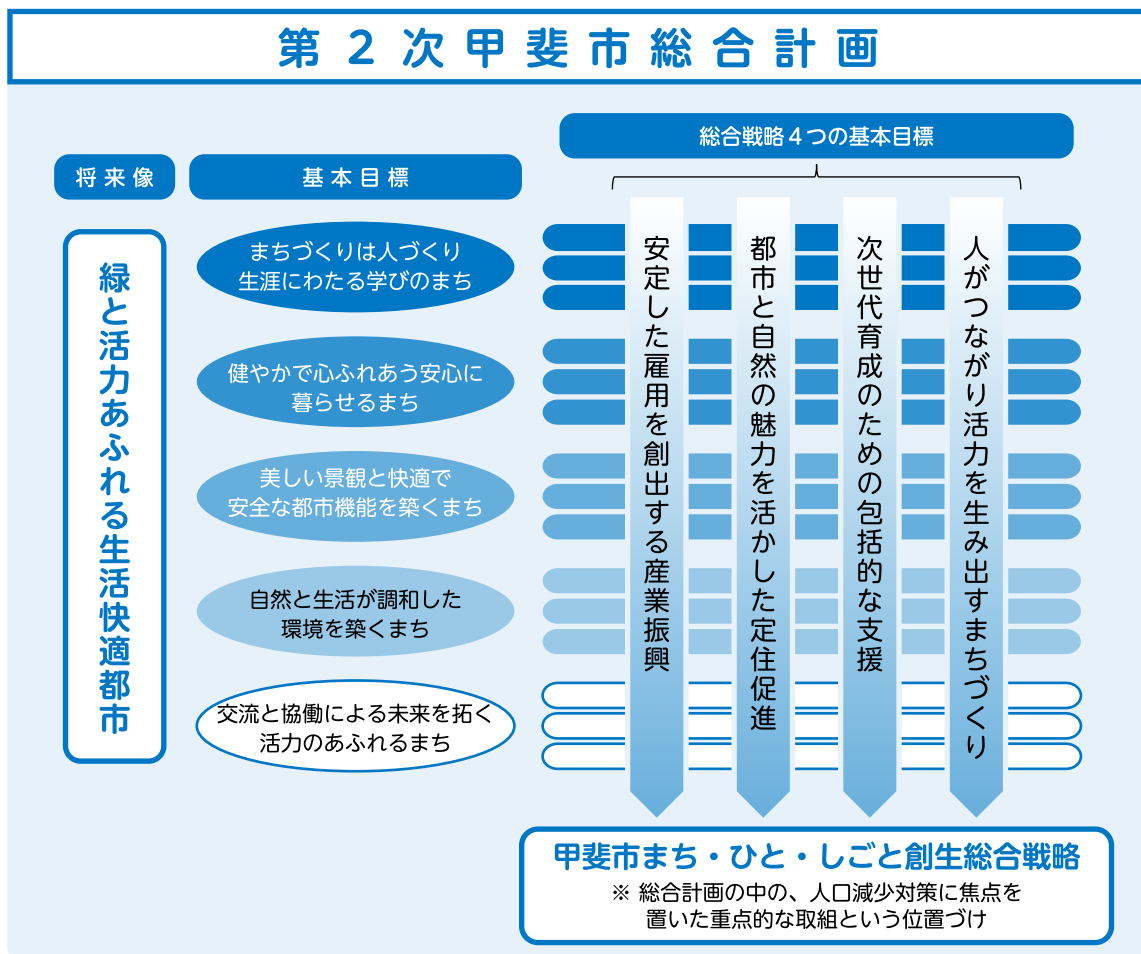
## ◆ 総合戦略プロジェクトの位置づけ

基本構想に掲げる市の将来像「緑と活力あふれる生活快適都市」を実現するためには、基本計画で位置づけられた施策を積極的に展開する必要があります。それには、まちづくりの課題や市民の要望を踏まえながら、限られた財源を最大限に有効活用し、「事業の選択と財源の集中」が重要です。

国は平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」と「地域再生法の一部を改正する法律」を制定し、全国の市町村は人口減少対策に取り組むことが求められています。

本市の将来人口推計でも人口減少が見込まれており、本市は人口減少対策を最重要課題のひとつと捉え、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しながら人口減少への対策をまとめた「甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年10月に策定しました。

第2次甲斐市総合計画は、本市の最上位計画であり、ここに提示する甲斐市総合戦略は、総合計画の中の人口減少対策に特化した重点的プロジェクトという位置づけで実施していきます。



## ◆ 総合戦略の基本目標

本市の総合戦略は、次の4つの基本目標を柱として推進していきます。

### 【基本目標1】 安定した雇用を創出する産業振興

#### <数値目標>

従業者数（事業所単位）（RESAS）：

21,674人（平成24年度） → 21,800人（平成31年度）

### 【基本目標2】 都市と自然の魅力を活かした定住促進

#### <数値目標>

20歳～24歳社会増減：△695人（平成27年度） → △481人（平成31年度）

市民の定住意向（ずっと住みたい割合）：

62.0%（平成27年度） → 70.0%（平成31年度）

### 【基本目標3】 次世代育成のための包括的な支援

#### <数値目標>

合計特殊出生率：1.55人（平成26年度） → 1.67人（平成31年度）

### 【基本目標4】 人がつながり活力を生み出すまちづくり

#### <数値目標>

自治会（区）加入率：82.0%（平成26年度） → 85.0%（平成31年度）

消防団の団員数の維持：608人（平成26年度） → 620人（平成31年度）

## 【基本目標1】 安定した雇用を創出する産業振興

### <基本的な方向性>

甲斐市人口ビジョンで展望した将来人口を目指していくためには、まず市内に働く場所が必要となります。本市では、平成26年に大手半導体メーカーが工場を閉鎖するなど、第2次産業の減退が進んでおり、既存の企業や産業がより発展するような振興支援策と同時に新しい産業振興策が市に求められています。

そのため、本総合戦略を含めた各種計画について、新たな雇用を創出するという目的と整合を保つように策定を進めていきます。また、甲斐市バイオマス産業都市構想や新規就農支援などにより、市内に安定した雇用が創出されるよう、事業環境等の改善及び創出に努めます。

### (ア) 地域経済振興戦略の企画

#### ◆ 戦略的な取組

- ◇ 総合戦略推進体制の整備
  - ・ 住民代表に加え、産業界、大学、金融機関、労働団体等が連携した総合戦略推進組織を設置するとともに、地方創生人材支援制度の活用も検討します。
- ◇ 総合戦略推進のための専門調査の実施
  - ・ 市内在住者への意識調査を実施します。
  - ・ 市外転出者への意識調査を実施します。

#### ■ 重点的な取組

- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 甲斐市都市計画マスタープランの見直し | <input type="checkbox"/> 都市計画基本図の修正  |
| <input type="checkbox"/> 甲斐市緑の基本計画の見直し      | <input type="checkbox"/> 都市計画基礎調査の実施 |

### (イ) 地域産業イノベーションの推進

#### ◆ 戦略的な取組

- ◇ バイオマス産業都市構想
  - ・ すでに本市で実施してきたバイオマス活用の取り組み実績を発展させるとともに、新たな木質バイオマス活用を展開し、これらを有機的に連携させることで、全市的な産業の活性化を図ります。
  - ・ 木質バイオマス発電施設は、そのバックボーンとして林業、輸送業が必要であり、間伐材・林地残材の収集から発電までの雇用を確保します。

◇ バイオマス活用による新たな農業の展開

- ・施設園芸や植物工場等を展開するにあたってはエネルギーコストが課題となりますが、木質バイオマス発電施設からの安価な熱の供給を受けることで、その新産業の実現を可能にし、雇用を創出します。
- ・バイオマス活用による6次産業化を推進します。例えば、新たな農業生産施設の整備と、地域のバイオマスから製造された液肥等の活用により生産された農産物を活かしたレストランなど、温泉施設や温水プール、農産物直売所とセットでの観光拠点として位置づけた展開に繋がります。

■ 重点的な取組

<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> バイオマス活用推進事業</li> <li><input type="checkbox"/> 農業の担い手育成の支援</li> <li><input type="checkbox"/> 都会の子どもとの田植え稲刈りでの交流</li> <li><input type="checkbox"/> 企業誘致に伴う工場用地等情報提供事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 地産地消への支援</li> <li><input type="checkbox"/> ごみの減量化の推進及び市民意識の向上</li> <li><input type="checkbox"/> 創業者の支援</li> </ul>
--	---

(ウ) 地域資源の再発見と販路拡大支援

◆ 戦略的な取組

◇ ふるさと物産販路拡大支援事業〔※先行事業〕

- ・台湾へのミネラルウォーター「龍王源水」及び市特産物販路拡大事業を実施します。
- ・国内マルシェなどにおいてふるさと PR 及び市特産物販路拡大事業を実施します。

◇ 地域ブランドの確立

- ・既存の特産品や観光スポット、マスコットキャラクターなど様々な地域ブランド資源を有機的に連携させ、物語性を持たせ、甲斐的な地域イメージを適切に付与することで、個別ブランドの位置づけと役割の明確化を図ります。そのうえで、戦略的にPRを進めることで、甲斐市の地域ブランドの浸透を図っていきます。

■ 重点的な取組

<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ふるさと応援寄附金事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 地域資源・特産品ツアーの実施</li> </ul>
--	---

## 【基本目標2】都市と自然の魅力を活かした定住促進

### <基本的な方向性>

本市の社会移動の現状としては、20歳代前半の年齢層の大幅な転出超過が第一の課題となっていますが、同時に近年は30歳代後半から40歳代前半の年齢層、つまり子育て世代の転出超過も見られるようになってきています。これらの年代の住民を市内に定着させると同時に、市外からも転入者を増やす努力が求められています。

本市は都市環境と自然環境がコンパクトにまとまり、ワーク・ライフ・バランスがとりにくい魅力があります。この魅力を活かしながら、東京圏を中心とした地域からの流入人口を創出するとともに、市内在住者の特に若年層の定住・回帰を促す施策に取り組み、より多くの人に選ばれる移住・定住施策を進めていきます。

### (ア)東京圏からの人口流入の創出

#### ◆戦略的な取組

##### ◇移住定住促進事業〔※先行事業〕

- ・住む、仕事、医療など情報を横断的に把握した定住移住ポータルWEBサイトを構築（空き家の紹介なども実施）するとともに、空き家調査を実施します。
- ・東京圏への定住移住促進窓口、営業活動拠点として魅力情報発信拠点の設置（若者・定年者などへの移住促進イベントの開催など）をします。

##### ◇ラインガルテンと連携した新規就農支援

- ・ラインガルテンの利用者の定住促進と新規就農を促す取り組みを充実させます。

#### ■重点的な取組

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 二地域居住推進事業の推進 | <input type="checkbox"/> ラインガルテンの運営        |
| <input type="checkbox"/> 観光巡回バスの運行    | <input type="checkbox"/> 文化芸術にふれあい親しむ機会の充実 |

(イ)若年層の定着とU・Iターン促進

◆ 戦略的な取組

- ◇ 転入もしくは転出学生に対する条件付奨学金
  - ・ 甲斐市出身の高校生・大学生への条件付き奨学金制度を創設し、高校・大学卒業後の甲斐市へのUターンを促します。
- ◇ 地域おこし協力隊を活用した農業政策
  - ・ 地域おこし協力隊を活用した新規就農支援などの農業政策を推進します。

■ 重点的な取組

- |  |                                  |
|--|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 公共職業安定所と連携した、地域に係わる新たな雇用対策の実施 | <input type="checkbox"/> 新規就農者支援 |
|--|----------------------------------|



## 【基本目標3】次世代育成のための包括的な支援

### <基本的な方向性>

本市の課題としてすでに触れたように、平成26年度には、合計特殊出生率が下落し、また、総合計画のための市民アンケート調査では「次世代育成支援対策の充実」に対する満足度は「満足」「ほぼ満足」を合わせても約16%と低い値になっています。さらに、市内居住者調査からも、理想の子ども数は2.6人であるのに対し、現実の子ども数が1.8人となっており、子育て環境等を改善することで、出生率が回復する余地は残されており、より一層の子育て支援策の充実が求められています。また、若年層の未婚率が上昇してきており、子どもを産み育てる社会的な環境が整わなくなってきています。

この他、子育て世帯にとって、子どもの教育環境が充実していることや、子どもを取り巻く地域社会が安全・安心で多様な体験のできるまちであることが、居住地選択の基準にもなっています。

そのため、結婚希望がある人が結婚でき、出産希望のある人が出産でき、また子育て世代が安心して子育てできる環境の整備に努め、結婚・妊娠・出産・子育て支援策を充実させていきます。

同時に、多様な子どもの教育ニーズに対応し、安全・安心で豊かな子ども期を過ごせるよう、各種施策に取り組んでいきます。

### (ア)結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

#### ◆戦略的な取組

##### ◇甲斐市版ネウボラ推進プロジェクト

・様々な機関が個々に行っている妊娠・出産・育児までの支援について、ワンストップ拠点として、甲斐市子育て世代包括支援センターを立ち上げます。このワンストップ拠点のひとつの支援として、産前産後のサポートを行える、産婦人科医の誘致を行い、本産婦人科医院を甲斐市子育て世代包括支援センターの附属機関として位置づけ、医師をはじめ助産師、保健師によるサポートにより、妊娠・出産・育児までの支援の体制づくりの強化を図ります。また、地元山梨大学との連携を図り、市・大学・個人病院の連携体制の確立を行います。

##### ◇若年層男女の出会いの場の創出

・若年層の未婚男女を対象とした、市内のイベント情報を提供することで、男女の出会いの場を創出します。併せて、市内への居住を促す施策にも取り組みます。

##### ◇不妊治療への助成

・不妊治療にかかる費用の一部の助成を継続して実施します。

■重点的な取組

<input type="checkbox"/> 市内保育所の運営、市外保育所等への運営費補助、市内外の認定こども園等の運営 <input type="checkbox"/> 放課後児童クラブの運営 <input type="checkbox"/> 延長保育事業、休日保育事業、病児・病後児保育事業、一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業の充実	<input type="checkbox"/> ファミリー・サポート・センターの運営 <input type="checkbox"/> 子育てひろばの運営 <input type="checkbox"/> 子ども・子育て支援事業計画の策定 <input type="checkbox"/> チャイルドシート貸出事業の実施 <input type="checkbox"/> 小児救急医療事業の実施 <input type="checkbox"/> 母子保健事業の実施
--	--

(イ)多様な教育ニーズに応じた教育の充実

◆戦略的な取組

◇甲斐っ子応援教室 ・学力の定着が十分でない児童・生徒への学習支援が重要な教育課題となっていることから、長期休業中などの学習支援を推進します。
--

■重点的な取組

<input type="checkbox"/> 文化芸術に関する教育や文化活動の充実（小中学校音楽祭） <input type="checkbox"/> 豊かな体験活動の推進 <input type="checkbox"/> 小中連携による一貫した進路指導の推進 <input type="checkbox"/> キャリア教育の理解と実践 <input type="checkbox"/> 道徳教育の推進 <input type="checkbox"/> 不登校問題・いじめ問題への取り組み <input type="checkbox"/> 教育指導者等への郷土教育の支援	<input type="checkbox"/> 小中学校の各段階に応じた学習指導の充実 <input type="checkbox"/> 基礎的・基本的な知識や技能の定着 <input type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等の育成 <input type="checkbox"/> 子育てに関する学習機会の充実 <input type="checkbox"/> 子育てに関する相談体制の充実 <input type="checkbox"/> 青少年の非行防止への取り組み
---	--

(ウ)地域と連携した子育て支援の充実

◆重点的な取組

<input type="checkbox"/> 地域活動への子どもの参加促進 <input type="checkbox"/> 地域のボランティア等との連携による安全・安心な地域環境の確保	<input type="checkbox"/> 週末の子どもたちの体験・交流活動等の場づくり <input type="checkbox"/> 開かれた学校づくりの推進
--	--

## 【基本目標4】人がつながり活力を生み出すまちづくり

### <基本的な方向性>

本市は都市環境と自然環境がコンパクトにまとまり、また、市内にはJR中央本線や中央自動車道路などの交通アクセスにおいても大きなアドバンテージを持っており、外部から人を呼びこむための居住環境としては好ましい条件がそろっています。

このような物理的な居住環境にアドバンテージがある一方で、近年は家族構成において単身者世帯の増加や3世代世帯の減少が進んでおり、地域コミュニティ活動の基盤が弱くなりつつあります。

物理的な居住環境と同時に、人と人との繋がりがあり、日常的にお互いに助け合うコミュニティであることや災害時に備えた組織・ネットワークが整備されていることが、本市に人を定着させ、また外部から人を呼び込む資源になります。

このため、より一層の物理的な住環境の整備を推進するとともに、多くの人々が交流しながら助け合い日常生活をより豊かにするまちづくりや、災害時に備えたまちづくりなどの施策を進めていきます。

### (ア)既存公共資源を利用したまちづくりマネジメント支援

#### ◆戦略的な取組

◇既存ストック活用まちづくりマネジメント支援事業  
 ・双葉スポーツ公園周辺地域、甲斐敷島梅の里クラインガルテン周辺地域、西八幡地区メディカルタウン周辺地域を対象としたまちづくり調査の実施及び計画策定を行います。

#### ■重点的な取組

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 公有財産等の有効活用のための関連計画の策定</li> <li><input type="checkbox"/> 福祉バスの運行</li> <li><input type="checkbox"/> 市民温泉による健康増進と交流の推進</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 塩崎駅周辺整備に伴うインフラ整備</li> <li><input type="checkbox"/> 空き地の雑草除去事業の推進</li> <li><input type="checkbox"/> 都市公園・市立公園の整備・維持</li> </ul> |
|--|---|

### (イ)相互扶助による助け合いのまちづくりの推進

#### ◆戦略的な取組

◇甲斐市パーソナルサポートセンター事業〔※先行事業〕  
 ・企業、市民等のボランティアの養成による生活困窮者等の支援を行います。  
 ・生活困窮者が生活保護に至る前のセーフティネット対策（食品リサイクルなど食料支援運営）を支援していきます。

■重点的な取組

<input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の推進 <input type="checkbox"/> 自治会（区）運営の支援 <input type="checkbox"/> スポーツイベントの実施	<input type="checkbox"/> 地域住民による環境美化活動の支援 <input type="checkbox"/> 緑化推進事業の推進 <input type="checkbox"/> 地域で取り組む健康づくりの推進
--	---

(ウ)協働による災害に強いまちづくりの推進

◆戦略的な取組

<p>◇地域連携推進事業〔※先行事業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災メール配信システム導入事業（消防団員を中核として地域防災力の充実強化及び自主防災組織等との連携）を実施します。</li> <li>・防災用品備蓄促進事業（非常用飲料水タグ作成）を実施します。</li> </ul> <p>◇防災士の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士は各自の所属する地域や団体・企業の要請を受け、避難、救助、避難所の運営などにあたり、地域自治体等の公的な組織やボランティアの人達と協働して活動することも期待されていることから、地域の中で活動できる防災士の養成を推進します。</li> </ul>
---

■重点的な取組

<input type="checkbox"/> 災害対策整備事業の推進	<input type="checkbox"/> 自主防災組織の結成促進、連携促進
--------------------------------------	---